



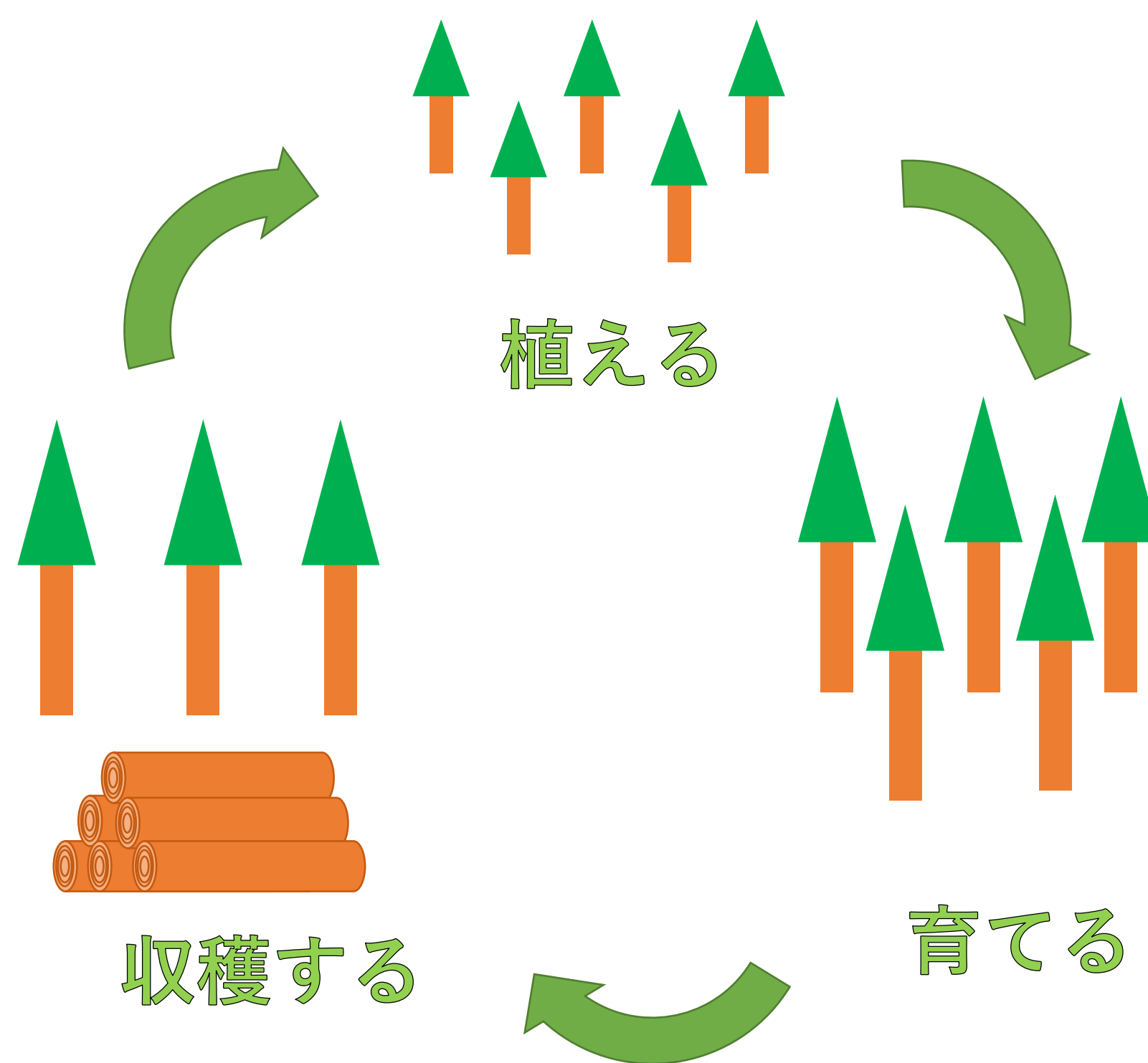
森林を使いながら守る



－ 環境と経済を成り立たせる林業経営 －

森林には様々な働きがあり、私たちの生活に欠かすことはできません。しかし、日本を含め世界中で森林が減少・劣化しています。

森林は石油や鉄などと違い、時間が経てば元の姿に戻ります。そこで、森林を使いながら守っていく技術を、経営工学の観点から研究しています。統計資料、アンケート調査、ビッグデータなどを用いてモデル分析やシミュレーションを行い、森林管理上の課題を解決していきます。



主な担当科目

森林利用学、森林特別実習、測量・GIS実習

教育方針

学問としての基礎を教え、実践する力を育てます。研究室に籠もるのではなく、現場での対話を重視しています。

専門分野

森林利用学

林業経済学

環境経済学

効率的な経営を行いながら持続的な森林づくりを行う「提案型集約化施業」の経営効率を分析しています。

値段の付いていない自然環境の経済価値を測定する手法を開発しています。



林業機械と作業方法の開発



提案型集約化施業の実施状況調査



富士山でのアンケート調査

主な研究成果

効率的な経営を行いながら持続的な森林づくりを行う「提案型集約化施業」をモデル化しました。その研究成果を実務者向けテキストにまとめるとともに、全国各地で実務者向け研修会の講師として研究成果の普及を行っています。

